

広島研修

広島と向き合い、広島を知る

【広島平和記念公園・資料館】

現在、広島平和記念公園になっている場所は被爆前には中島地区と呼ばれ、びっしりと家々が建ち並び、多くの人々が住んでいました。平和記念公園を歩くと、原子爆弾によって人々の日常生活が一瞬で失われてしまったことを思うと、とても複雑な気持ちで、一步の重みを感じました。

＜平和記念資料館＞

資料館では、「戦争」の恐ろしさ、辛さ、悲しさを改めて感じました。やはり何があっても「戦争」という手段は選ぶべきではなく、広島、長崎のようなことが二度と起こらないようにしなければなりません。

展示物には原子爆弾の恐ろしさや被害、戦時中の生活について、詳しく説明がされていました。どれも、私にとってはとてもショックが大きく、見るのも辛かったです。

＜平和記念公園＞

2日間の広島研修で私が最も平和について考えさせられた場所は、平和記念公園内にある被爆した墓石です。5つの石が積まれていた墓石は、原子爆弾による爆風によって上2つが飛ばされて落ちていました。また、墓石のまわりの地面は、周囲より60cmほど低くなっていました。当時の地面が残っているのです。平和公園は盛り土をして建設されたため、現在の地面は60cmほど上にあるのです。この下に今も崩れた道路やその場所に住んでいた人の日用品なども埋まっているのです。70年前と言われると昔のように感じますが、地面の下に眠っている戦争跡の上で、人々は日々生活しているのです。

【感想】

この2日間で私は、はるか昔だと思っていた70年前の戦争が、実はこんなにも身近にあり、忘れてはいけないことであると気付かされました。と同時に軽く考えていたことに対して反省しました。

そして、辛く悲しい過去から目を背けてしまえば、また同じ過ちを繰り返してしまうかもしれないと考えました。だからこそ、私はしっかりと向き合い、未来に平和な世界を作っていかなければならないと思いました。

弥富中学校 珠島 瞳



【資料館内見学風景】



【被爆した三輪車
鏡谷信男(てつたにのぶお)氏寄贈】



【被爆した慈仙寺(じせんじ)
跡の墓石】

平和な未来へ

弥富中学校 野場 那穂

【平和記念公園】

私は、原爆ドームを見たのは2度目でした。最初に見たのは、小学校低学年の時でした。その頃は、まだ戦争についてあまり知らなかったのが、原爆ドームが保存されている意味がよくわかりませんでした。今回、広島研修にあたり事前学習をしてから見た原爆ドームは、恐怖しかありませんでした。

平和記念公園で、「平和の灯(ともしび)」という「この世界から核兵器がなくなるまで燃やし続けよう」という人々の願いの火を見ました。

私は、核兵器がなくなり、1日でも早く火が消えてほしいと思います。

【しげるちゃん弁当】

当時の昼食を再現したしげるちゃん弁当を食べて、現在の私たちは幸せだと改めて感じました。しげるちゃん弁当の中身は、大豆が入った豆ごはんとお魚が入った切り干し大根だけでした。味は薄くて、とても質素なものでした。

これから食事のとき、好き嫌いをしないで、感謝しながら食べたいと思います。

【被爆ピアノ】

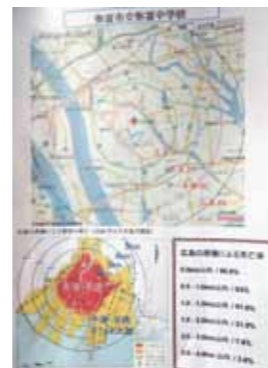
私は、被爆ピアノの演奏やそのお話を聞いて、とても悲しくなりました。また、被爆してしまったピアノなのに、再び音を奏でることができて、すごいと思いました。

被爆ピアノは、私たちに戦争の恐ろしさを教えてくれると同時に、世界に戦争と平和について考えさせてくれるピアノだと思います。だからこそ、これからもずっと、このピアノによる演奏を続けてほしいと思います。

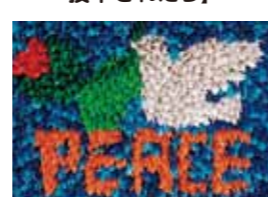
【広島研修を終えて】

広島研修体験を終えて、私は本当に行きたくて良かったと思いました。そして、戦争を二度としてはいけないということを学びました。多くの人々の命や幸せを奪い、苦しみだけが残さない戦争や核兵器は、何の意味もないと思いました。

世界を平和にすることは私たちに難しいです。しかし、小さいことから平和を心掛けていきたいと思っています。毎日が平和であることに感謝しながら生活し、未来につなげていきたいです。



【もしも弥富中に原爆が
投下されたら】



【学級で奉納した
折り鶴アート】

TOPICS

新型コロナウイルス感染症に関する「診療・検査医療機関」の指定および「受診・相談センター」などの設置

これまで、新型コロナウイルス感染症を疑う症状がある方は、保健所に設置されていた「帰国者・接触者相談センター」に相談の上、「帰国者・接触者外来」などを受診し、検査を受けていただいております。

季節性インフルエンザ流行期に備え、発熱患者などがかかりつけ医などの地域の医療機関に直接相談の上、診察・検査を受けられる体制を整えるため、愛知県より**「診療・検査医療機関」**が指定されました。

また、かかりつけ医を持たず、受診先に迷う方に、医療機関を案内する電話相談窓口として、**「受診・相談センター」**が保健所に設置されるとともに、**「電話相談体制を整備した医療機関」**が指定されております。

こうした体制整備に伴い、これまでの「帰国者・接触者相談センター」および「帰国者・接触者外来」の名称は廃止となりました。

発熱などの症状が生じた場合

相談・受診方法

- ① 発熱などの症状が生じた場合は、まずはかかりつけ医などに電話相談する。
- ② 相談先が分からない場合や、かかりつけ医などで対応できない場合は、「受診・相談センター」や「電話相談体制を整備した医療機関」へ電話相談する。
- ③ 電話相談で案内された医療機関に電話連絡し、医療機関の指示に従って受診する。

受診・相談センター

電話相談窓口	電話番号	受付日時
津島保健所	24 - 6999	【平日】9:00~17:30 (所管区域：津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村)
夜間・休日相談窓口	(052)856 - 0315	【平日夜間】17:30~9:00 【土日祝】24 時間体制

※診療・検査医療機関および「電話相談体制を整備した医療機関」につきましては、市ホームページでご確認ください。

お済みですか?お子さんの予防接種

対象者の方には、4月にご案内を郵送しました。まだお済みでない方はお済ませください。対象者の方で、予診票を紛失された方や転入者は、市役所健康推進課までご連絡ください。

予防接種名	対象年齢	期限	受診方法
MR 混合 第2期	平成26年4月2日~ 平成27年4月1日生まれの児童	令和3年 3月31日まで	指定医療機関で予約の上、予診票・母子健康手帳・健康保険証を持参し接種してください。指定医療機関は市のホームページでご確認ください。
2種混合	11歳以上13歳のお誕生日の前日まで ※小学6年生に個別通知しています。 小学5年生の方は令和3年4月に個別通知しますのでお待ちください。	13歳のお誕生日前日まで	
日本脳炎 第2期	9歳以上13歳のお誕生日の前日まで ※小学4年生に個別通知しています。 小学3年生の方は令和3年4月に個別通知しますのでお待ちください。		

市役所健康推進課(内線 313)